

東日本旅客鉄道株式会社 大宮総合車両センター見学会 実施報告

2018年11月7日(水) 13:30~15:30

1. 会場

東日本旅客鉄道株式会社 大宮総合車両センター
(さいたま市大宮区錦町 1017)

2. 概要

東日本旅客鉄道株式会社、大宮総合車両センターは、1894年(明治27年)に日本鉄道株式会社の工場として設立された歴史ある車両工場である。また、大宮工場から現在の大宮総合車両センターとして2004年に改称された。敷地155,500m²という広さを持ち、車体棟(3棟)、部品棟(6棟)や塗装棟、整備棟などが設置されている。この総合車両センターでは、宇都宮線・高崎線を走る電車やカシオペアなどの客車のメンテナンスや各種車両の改造を行っている。見学会では、部品棟や塗装棟などをご紹介いただいた。

3. 参加者数

37名

4. 実施内容

当日、大宮総合車両センターの正面玄関(写真1:入口付近に展示されているSL, 写真2:正面玄関)で集合し、概要説明をしていただく部屋に移動いただいた。そして、大宮総合車両センターの概要説明として、大宮総合車両センターの紹介や取り組みについてご紹介いただいた。

次に総合車両センターを徒歩で移動し、電車の車輪、車輪と車軸の取り付け、その工作機械などをご説明いただいた。電車の車輪の取り扱いや重さ、車軸の取り付けについて質問時間も設けていただきながら、詳しくお話いただいた。その後、実際の車両がある建物に移動し、車両の修繕、改造など具体的な説明を交えながら、じっくりと時間を取り見学を行った。修繕や改造は、一般に見られる車両から珍しい車両まで取り扱っているとのこと、その修繕・改善などの作業は大変興味深いものであった。移動中、“車両”を運搬する車両が実際に活動しており、見学者の皆様は興味深くその動きを見学されていた。さらに、電車の上部・下部作業の修繕・取り付け現場や駆動用モータが置かれている現場に行き、実際の作業現場を見ることができた。その後、休憩も兼ねて資料室に移動し、大宮総合車両センターの沿革やさまざま電車の歴史についての情報を各見学者は興味深くみて

いた。最後に参加者数人から活発な質問などが出ていた(写真3)。



写真1

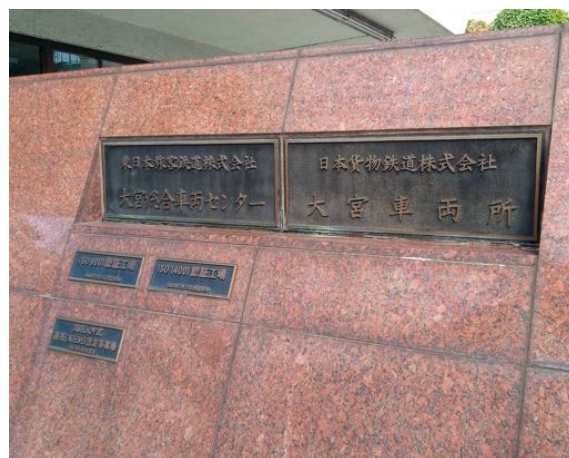


写真2



写真3

5. スケジュール

- 13:25 大宮総合車両センター正面玄関集合
- 13:30~14:00 概要説明
- 14:00~15:15 所内見学・質疑応答
- 15:30 解散

6. 所見

各見学箇所で大変活発に質疑応答が交わされ、参加者からの評判も良かったことから、来年度以降も本見学会を継続していきたい。

(報告書作成 飯塚 浩二郎)